

会 告

平成26年1月号から会告は、一部内容を除き
 本会ホームページのみの掲載となりました。

<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>
 (本会ホームページ→各種お知らせ→会告)

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成26年10月2日～10月31日

開催プログラムは変更になることがあります。
 最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界サイエティ

研究会名	日 時		会 場
回路とシステム (CAS)	16日(木)	9:15~17:25	愛媛大学・総合情報メディアセンター
非線形問題 (NLP)	17日(金)	9:00~17:10	
信頼性 (R)	17日(金)	13:30~16:45	第一工業大学
超音波 (US)	22日(水)	13:00~17:20	静岡大学・浜松キャンパス
応用音響 (EA)	24日(金)	13:00~16:20	日立製作所・中央研究所
VLSI設計技術 (VLD)	2日(木)	13:00~17:05	東北大学・片平キャンパス・片平さくらホール
集積回路 (ICD)	3日(金)	9:30~11:10	
画像工学 (IE)			
ワイドバンドシステム (WBS)	3日(金)	13:00~16:25	秋田県立大学・カレッジプラザ
思考と言語 (TL)	11日(土)	10:15~14:30	機械振興会館
技術と社会・倫理 (SITE)	14日(火)	14:00~16:40	日本大学・駿河台キャンパス・理工学部
イメージ・メディア・クオリティ (IMQ)	24日(金)	14:00~16:20	京都工芸繊維大学
バイオメトリクス (BioX)	16日(木)	13:30~16:55	大濱信泉記念館 (石垣島)
	17日(金)	9:30~12:15	
10月休会の研究会；情報理論 (IT), 情報セキュリティ (ISEC), 信号処理 (SIP), システム数理論と応用 (MSS), 安全性 (SSS), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), 高信頼制御通信 (RCC)			

◎通信サイエティ

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P)	15日(水)	13:30~17:35	北海道大学・クラーク会館
無線電力伝送 (WPT)	16日(木)	9:20~17:10	
	17日(金)	9:20~16:35	
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	22日(水)	8:40~17:40	Ramada Plaza Melaka (Malaysia)
	23日(木)	9:00~17:20	
	24日(金)	8:40~12:00	
衛星通信 (SAT)	23日(木)	10:00~15:20	Haeundae Grand Hotel (Korea)
	24日(金)	10:00~14:15	
環境電磁工学 (EMCJ)	23日(木)	9:30~17:45	秋田県立大学・システム科学技術学部・本荘キャンパス
マイクロ波 (MW)	24日(金)	9:10~15:50	
エレクトロニクスシミュレーション (EST)			
ネットワークシステム (NS)	16日(木)	9:20~18:00	松江テルサ
	17日(金)	8:55~12:35	

情報ネットワーク (IN)	16日(木) 17日(金)	14:30~16:50 13:00~14:15	大阪大学・中之島センター
電子通信エネルギー技術 (EE)	10日(金)	9:30~12:00	機械振興会館
光通信システム (OCS) 光エレクトロニクス (OPE) レーザー・量子エレクトロニクス (LQE)	30日(木) 31日(金)	9:35~18:10 9:20~16:30	長崎歴史文化博物館
無線通信システム (RCS)	16日(木) 17日(金)	9:00~18:45 9:30~16:55	慶應義塾大学・日吉キャンパス
光ファイバ応用技術 (OFT)	23日(木) 24日(金)	13:00~17:25 9:10~11:50	三宮コンベンションセンター
インターネットアーキテクチャ (IA)	7日(火)	10:30~17:25	グランフロント大阪・タワーB
スマート無線 (SR)	30日(木) 31日(金)	9:00~16:30 9:00~17:30	Infuse Theatre 14th Floor 1 (Singapore)
短距離無線通信 (SRW)	27日(月)	10:20~17:20	千葉大学・西千葉キャンパス
ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)	23日(木)	13:30~16:55	富山大学・工学部・五福キャンパス
10月休会の研究会; 通信方式 (CS), コミュニケーションクオリティ (CQ), フォトニックネットワーク (PN), 情報通信マネジメント (ICM), モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA), 知的環境とセンサネットワーク (ASN)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD)	17日(金)	14:00~16:15	たましん RISURU ホール
磁気記録・情報ストレージ (MR)	2日(木) 3日(金)	13:30~16:40 9:30~11:50	東京電力・柏崎エネルギーホール
超伝導エレクトロニクス (SCE)	15日(水) 16日(木)	13:00~17:55 9:00~15:20	東北大学・電気通信研究所
電子ディスプレイ (EID)	15日(水)	13:15~16:30	機械振興会館
電子デバイス (ED)	21日(火) 22日(水)	13:30~16:45 9:00~11:50	北海道大学・札幌キャンパス・ファカルティハウス
電子部品・材料 (CPM)	8日(水)	13:00~17:10	機械振興会館
電子部品・材料 (CPM)	24日(金) 25日(土)	(未定)	信州大学・工学部・地域共同研究センター
シリコン材料・デバイス (SDM)	16日(木) 17日(金)	14:00~18:00 9:30~15:50	東北大学・未来科学技術共同研究センター
有機エレクトロニクス (OME)	10日(金)	10:30~16:30	大阪大学・中之島センター
集積回路 (ICD) VLSI設計技術 (VLD) 画像工学 (IE)	2日(木) 3日(金)	13:00~17:05 9:30~11:10	東北大学・片平キャンパス・片平さくらホール
マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST) 環境電磁工学 (EMCJ)	23日(木) 24日(金)	9:30~17:45 9:10~15:50	秋田県立大学・システム科学技術学部・本荘キャンパス
光エレクトロニクス (OPE) レーザー・量子エレクトロニクス (LQE) 光通信システム (OCS)	30日(木) 31日(金)	9:35~18:10 9:20~16:30	長崎歴史文化博物館
10月休会の研究会; 電磁界理論 (EMT), マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC)	18日(土)	10:30~17:05	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
画像工学 (IE) VLSI設計技術 (VLD) 集積回路 (ICD)	2日(木) 3日(金)	13:00~17:05 9:30~11:10	東北大学・片平キャンパス・片平さくらホール
コンピュータシステム (CPSY)	10日(金)	10:30~14:40	幕張メッセ・国際会議場
コンピューテーション (COMP)	8日(水)	10:20~16:15	中央大学・後楽園キャンパス

ソフトウェアサイエンス (SS)	23日(木) 24日(金)	(未定)	高知市文化プラザかるぼーと
ディペンダブルコンピューティング (DC)	27日(月)	14:30~16:50	機械振興会館
パターン認識・メディア理解 (PRMU) (9月掲載)	9日(木) 10日(金)	14:00~18:00 13:00~17:00	幕張メッセ・国際会議場
音 声 (SP)	23日(木) 24日(金)	14:00~17:00 9:00~12:10	南紀白浜温泉・ホテルシーモア
教 育 工 学 (ET)	18日(土)	9:30~17:30	金沢大学・角間キャンパス
サービスコンピューティング (SC)	24日(金) 25日(土)	(未定)	東北大学
今後の予定；パターン認識・メディア理解 (PRMU)			
10月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS), 言語理解とコミュニケーション (NLC), 人工知能と知識処理 (AI), データ工学 (DE), 知能ソフトウェア工学 (KBSE), 医用画像 (MI), ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM), リコンフィギャラブルシステム (RECONF), 情報通信システムセキュリティ (ICSS), 情報論的学習理論と機械学習 (IBISML), マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM), クラウドネットワークロボット (CNR)			

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時	会 場
ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	23日(木) 13:00~17:50 24日(金) 9:00~12:40	東京農工大学・小金井キャンパス・140周年記念会館
ヒューマン情報処理 (HIP)	25日(土) 14:30~17:40	富山県立大学
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	9日(木) 9:30~18:40 10日(金) 9:00~16:25	洞爺湖文化センター
福祉情報工学 (WIT)	19日(日) 13:00~17:30 20日(月) 8:30~10:10	菊南温泉・ユウベルホテル

◇第二種研究会開催案内

第10回再生可能集積システム時限研究会	10月18日(土)	東洋大学・川越キャンパス
第6回安全・安心な生活のための情報通信システム(ICSSSL)研究会	10月20日(月), 21日(火)	朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
第55回機能集積情報システム研究会	10月24日(金)	兵庫県立大学・産学連携・研究推進機構
第16回フォトニックネットワークチュートリアル講演会	10月31日(金)	テレコム先端技術研究支援センター

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	11月25日(火)	岡山大学・自然科学研究科
第28回サイバーワールド (CW) 研究会	12月12日(金)	三菱みなとみらい技術館

●..... 受賞候補者募集等●

——平成 26 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2014 年総合大会（新潟大学）及び、2014 年ソサイエティ大会〔基礎・境界，通信，エレクトロニクスの 3 ソサイエティになります〕（徳島大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長，各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2014 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件>
1. 本会会員であること
 2. 2014 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演，シンポジウム講演）であること。
 3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳未満の者であること。ただし翌年 1 月 1 日が誕生日の者は選定の対象とする。
 4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>

本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し，適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し，電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 26 年 10 月 10 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線
.....

平成 26 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 2) 所属	会員番号： (条件 1)	年齢： (条件 3)
発表大会名	2014 年ソサイエティ大会(徳島大学)	
(講演番号)	()	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号：)	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。
 ・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので、お分かりでしたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます。(氏名，会員番号等は個人情報ですのでお取扱いには御注意下さい。)

——平成 26 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）——

***** Nomination guidelines for the 2014 Best Paper Awards of IEICE (Communications Society) *****

通信ソサイエティから、ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 26 年度論文賞候補論文推薦のお願いです。論文賞は、各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から、特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです。通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します。

なお、論文賞候補に推薦された論文は、通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。通信ソサイエティ論文賞は、通信ソサイエティが 2006 年度に創設し、カテゴリ別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです。

論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

◎ 論文賞推薦条件及び規程

1. 推薦対象

論文賞候補となる論文は、平成 25 年 10 月から平成 26 年 9 月までの間に通信ソサイエティの論文誌に発表された論文とする。ただし、招待・解説論文、及び、ComEX レターは通信ソサイエティ論文賞の候補にはなるが、論文賞の候補とはならない。

2. 推薦用紙

通信ソサイエティ正員は、推薦用紙若しくは通信ソサイエティ HP 上 (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>) の所定の様式により論文賞候補論文 1 編を推薦する。なお、推薦用紙を用いた場合は、本会総務部宛て郵送のこと。

3. 推薦資格及び推薦件数

通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編

4. 推薦期日

平成 26 年 11 月 1 日（土）（必着）

5. 選奨規程下記参照

1. The candidate papers must be selected from the IEICE Transactions on Communications published between October 2013 and September 2014. Note that Invited Papers and IEICE Communications Express (ComEX) Letters shall be the candidates only for the Best Tutorial Paper Award and the ComEX Best Letter Award, respectively, of the IEICE Communications Society.
2. Any regular member of the IEICE Communications Society can nominate one paper for the award candidates either via the prescribed nomination form or via the Web page of the IEICE Communications Society. (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>)
3. The nomination deadline is November 1, 2014.
4. For detailed provisions of the Best Paper Award of IEICE, see <http://www.ieice.org/eng/awards/provisions.html#03>

◎ 論文賞規程

第 4 章 論文賞

第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に掲載された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。

第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。

第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。

第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。

◎ 各ソサイエティ論文賞候補論文選定方法規程

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/societysentei.html#B> を参照。

◎ 通信ソサイエティ論文賞規程

<http://www.ieice.org/cs/jpn/cs-edit/files/best-paper.html> を参照。

《通信ソサイエティ》平成 26 年度論文賞候補論文推薦用紙
 Nomination for the 2014 Best Paper Award of IEICE (Communications Society)

論文種別 Type of article	<input type="checkbox"/> 論文 (Paper) <input type="checkbox"/> 招待・解説論文 (Invited Paper) <input type="checkbox"/> サーベイ論文 (Survey Paper) <input type="checkbox"/> レター (Letter)
論文名 Title	
著者名 Author(s)	
分冊 Edition published in parts	<input type="checkbox"/> 和文論文誌 B (IEICE Trans. Commun. (Japanese Edition)) <input type="checkbox"/> 英文論文誌 B (IEICE Trans. Commun.) 掲載号 (Published date) : 年 (Year) 月号 (Month)
掲載年月号 Published date	<input type="checkbox"/> IEICE Communications Express (ComEX) Volume : Number :
推薦理由 Reason for nomination	
推薦者 Nominator 通信ソサイエティ正員 Regular member of Communications Society	氏名 (会員番号 :) Name Membership number 勤務先・所属名 Affiliation

※論文賞候補の推薦は本用紙に限ります。(コピーしたものは受け付けません.)
 This is an official form for the award nomination. Copied form is not accepted.

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
 Reason for nomination must be provided. Each regular member of the Communications Society is allowed to nominate one article.

※本推薦により、上記論文は通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。
 The paper nominated here is also registered as the award candidate of the Best Paper Award of the Communications Society.

※招待・解説論文及び ComEX レターは、論文賞の候補となりませんので御注意下さい。
 Invited Papers and ComEX Letters shall not be nominated for the Best Paper Award of IEICE.

提出先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 電子情報通信学会 総務部
 Mail to: Finance and Administration Department, IEICE Headquarters Office
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 Japan

——情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼——

情報・システムソサイエティ論文賞選定委員会
委員長 杉本晃宏

情報・システムソサイエティでは1999年度より、本部論文賞とは別に、情報・システムソサイエティ論文賞（以下ソサイエティ論文賞と略記）を新設致しております。情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。ソサイエティ論文賞は和・英論文誌Dに掲載された論文を対象とし、以下の4種類のうちから原則1件、長期的視点に立って特に優秀な論文を選び、その著者に贈呈します。

1. [サーベイ論文・解説論文] 2009年10月から2013年9月の4年間に掲載された和・英のサーベイ論文・解説論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
2. [先見論文] 2009年10月から2013年9月の4年間に掲載された和・英の論文のうち、新たに価値が認識された特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
3. [連作論文] 2009年10月から2014年9月の5年間に掲載された和・英の論文のうち、同一著者による複数件の論文が連作として優れていると認められるもの。ただし連作の論文の一つが既に本部論文賞あるいはソサイエティ論文賞を受賞している場合は対象としません。
4. [システム開発論文] 2009年10月から2013年9月の4年間に掲載された和・英のシステム開発論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。

正員が推薦できる論文は1編です。ただし、連作論文の場合は複数の論文からなる連作1件です。下記に記入の上、学会事務局（〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館 電子情報通信学会大会・研究会部ISS担当）宛てに12月1日（月）までに郵送して下さい。

なお、ソサイエティ論文賞の詳細につきましては、電子情報通信学会誌 vol. 82, no. 10, pp. 1072-1073, “情報・システムソサイエティ論文賞の創設”（1999年10月）または、情報・システムソサイエティ誌 第4巻第3号 “ソサイエティ活性化の新しい試み”（1999年10月 <http://www.ieice.org/~iss-mag/pdf/Vol4No3.pdf>）を御覧ください。

情報・システムソサイエティ論文賞 2014年度候補論文推薦用紙

論文種別 ([サーベイ論文・解説論文] [先見論文] [連作論文] [システム開発論文]) いずれか一つに○印をつける	
推薦論文 (論文名, 著者, 掲載年月号, 論文誌種別を明記 [連作論文] の場合はすべてを挙げること)	
推薦理由	
推薦者 (情報・システムソサイエティ正員氏名)	勤務先・所属
	勤務先住所・電話・電子メール
会員番号	

(本部論文賞の推薦用紙は会誌11月号会告欄に掲載致します。お間違えのないよう御注意下さい)

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●電気通信大学

公募人員 情報理工学研究科情報・通信工学専攻 助教1名
 専門分野 情報通信システムの効率・信頼性並びに安全性解析
 応募締切 平成26年10月17日(金)17時必着(日本時間)
 問合先 情報・通信工学専攻教授 來住直人
 TEL [042] 443-5199, kishi@ice.uec.ac.jp
 詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●電気通信大学

公募人員 テニユア・トラック助教1名
 所 属 情報理工学研究科情報・通信工学専攻
 専門分野 通信ネットワーク工学・情報ネットワーク工学
 応募資格 採用時に博士の学位を有しており、かつ、上記募集分野において、優秀な研究を推進している方、自律して独創的な研究を行い得る能力を有する方
 応募締切 平成26年10月31日(金)17時必着(簡易書留で送付)
 問合先 情報・通信工学専攻教授 大木英司
 TEL [042] 443-5195, eiji.oki@uec.ac.jp
 詳細 http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140804.pdf

●静岡理工科大学

公募人員 コンピュータシステム学科 講師または准教授1名
 専門分野 コンピュータネットワークの設計・管理・運用、及び活用研究
 着任時期 平成27年4月1日
 応募締切 平成26年10月31日(金)必着
 送付先 〒437-8555 袋井市豊沢2200-2
 静岡理工科大学事務局総務課
 問合先 コンピュータシステム学科長、教授 玉真昭男
 TEL [0538] 45-0205, tam@cs.sist.ac.jp
 詳細 本学HP (<http://www.sist.ac.jp/>) を御覧下さい

●北海道大学

募集人員 情報基盤センター大規模計算システム研究部門
 准教授1名、助教1名
 専門分野 (准教授) クラウドコンピューティング
 (助教) ハイパフォーマンスコンピューティング
 ※詳細は下記 URL へアクセスして下さい
 応募締切 平成26年10月31日(金)17時必着
 問合先 情報基盤センター長、教授 高井昌彰
 TEL [011] 706-2969
 詳細 <http://www.iic.hokudai.ac.jp/>

●静岡大学

公募人員 助教1名
 所 属 機械工学専攻光電精密コース
 専門分野 電気電子工学を主とするメカトロニクス
 応募締切 平成26年11月4日(火)必着
 問合先 〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1
 静岡大学大学院工学研究科機械工学専攻 浅井秀樹
 (静岡大学電子工学研究所)
 TEL [053] 478-1237
 hideasai@sys.eng.shizuoka.ac.jp

●大分大学

公募人員 准教授1名
 所 属 情報基盤センター
 専門分野 情報工学
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成27年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成26年11月7日(金)必着
 問合先 情報基盤センター 吉田和幸
 yoshida@oita-u.ac.jp
 詳細 <http://www.cc.oita-u.ac.jp/koubo.html>

●富山県立大学

公募人員 工学部情報システム工学科 講師または助教1名
 専門分野 基盤情報工学(クラウド基盤技術、SDN、ソフトウェア無線などに関する今日的テーマに意欲的に取り組み、独創的研究を展開できること)
 応募締切 平成26年11月14日(金)必着
 問合先 情報システム工学科主任教授 松田弘成
 詳細 本学ホームページ (<http://www.pu-toyama.ac.jp/>) の教員公募欄参照

●奈良工業高等専門学校

公募人員 教授または助教1名
 専門分野 電気・電子工学関連分野
 担当科目 電気基礎系、電力・機器系、環境系、電気・電子回路系
 上記から専門分野に応じて担当
 着任時期 平成27年4月1日
 応募締切 平成26年12月1日(月)必着
 問合先 電気工学科主任 藤田直幸
 koubo@elec.nara-k.ac.jp
 詳細 <http://www.nara-k.ac.jp/employ/saiyo/advertise/>

●豊田工業大学

公募人員 准教授1名(Tenured または Tenure Track)
 専門分野 半導体及び関連分野
 着任時期 平成27年4月1日またはできるだけ早期
 応募締切 平成26年12月12日(金)当日消印有効
 問合先 選考委員会委員長 吉村雅満
 詳細 応募資格、提出書類、送付先については下記 URL 参照のこと
<http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 12月号掲載分 平成26年10月24日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成27年シニア会員申請について——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成27年1月31日まで
- ・推薦基準：本会に関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として累計在籍年数5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。累計在籍年数は、提出期限である1月31日までの在籍月数を積算し、12か月を1年とし、端数月数は切り捨てる。

・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要

・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいませようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成27年度代議員選挙の

立候補申請について——

「代議員の選出に関する規程」に基づき、平成27年度代議員選挙の立候補を受け付けます。

- ・立候補者：代議員の立候補者は本年9月1日現在、正員として5年以上在籍する会員で、正員等の推薦者5名を付して代議員となることを申し出た者としします。
- ・立候補の締切：平成26年10月31日 学会事務局必着とします。
- ・立候補届：以下の立候補届に所定の内容を記入し、下記まで郵送下さい。

☆立候補届用紙は下記のURLにあります。

<http://www.ieice.org/jpn/27daigiinrikkouho.pdf>

- ・郵送先：〒105-0011 港区芝公園3-5-8
機械振興会館101号室
電子情報通信学会事務局

会告

——御登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/mypage/index.html>

◆御利用方法

事前に、上記のURLからパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認/変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでのWeb決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満60歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
 - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) 〃がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX/郵送して頂く形式をとっております。

——電子情報通信学会東京支部教育イベントの

公募について——

電子情報通信学会東京支部では、本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励および普及事業」として、我が国の未来を担う子どもたちに自然科学、特に電子情報通信分野や関連分野の科学技術のおもしろさ、すばらしさを実感、体感してもらえるイベントを企画することにより、「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています。そのため、これまでも東京支部が主催する各種教育イベントを企画、実施してきました。

更にその活動を広げることを目的として、本会東京支部会員から、一般の小、中、高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します。企画・イベントの実施に際しては、東京支部が共同主催し、そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています。

なお、応募要領の詳細につきましては、東京支部ホームページ(<http://www.ieice.org/tokyo/koubokyouikuibento.html>)を御覧下さい。

——平成26年10月号及び11月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

11月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems
(通信ソサイエティ)

10月号 [和文] 将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ

10月号 [英文] Recent Progress in Measurement and Design Techniques on Antennas, Propagation and Wireless Systems

11月号 [和文] 新たな広がりを見せる衛星通信及び関連宇宙技術

11月号 [英文] Network Virtualization, and Fusion Platform of

Computing and Networking

(エレクトロニクスサイエティ)

10月号 [英文] Recent Progress in Microwave and Millimeter-wave Technologies

11月号 [和文] 次世代環境対応エレクトロニクスを指向した革新的実装技術

11月号 [英文] Electronic Displays

(情報・システムサイエティ)

10月号 [英文] Frontiers of Internet of Things

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

◇信越支部

●講演会「オープンソースハードウェアによるモノづくりの革新技術」

期 日 平成26年10月24日(金)

会 場 信州大学長野(工学部)キャンパス(長野市)

URL <http://www.ieice.org/shinetsu/>

◇関西支部

●電気三学会関西支部専門講習会「映像表現 (AR, VR, VFX) の最新動向」

期 日 平成26年10月24日(金)

会 場 中央電気倶楽部(大阪市)

URL <http://www.ite.or.jp/kansai/>

●准員及び学生員のための講演会(後半)

期 日 平成26年10月28日(火), など

会 場 同志社大学, など

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

●電気三学会関西支部一般見学会「農業へのICT(情報通信技術)活用の可能性」

期 日 平成26年11月7日(金)

会 場 大阪府立大学21世紀科学研究機構植物工場研究センター(堺市)

関西文化学術研究都市けいはんなプラザ内京都大学先端植物工場(京都府)

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619